

「北海道・北東北の縄文遺跡群」世界遺産登録推進フォーラム

津軽海峡をめぐる縄文文化

入場無料

お申し込みは
不要です



海をこえて、つながり、広がる 縄文のこころ

縄文時代、北海道と北東北は津軽海峡を介してゆるやかに関係しあう大きな文化圏が形成されていました。
津軽海峡圏の縄文文化の特徴や、当時の人々の様々な交流のようすを各分野の専門家とともにめぐります。

森町[morimachi]

函館[hakodate]

青森[aomori]



世界遺産登録
推進フォーラム

と き 平成26年10月5日(日) 13:00~16:00
ところ ロワジュールホテル函館(函館市若松町14-10)

基調講演 「津軽海峡圏の縄文はここがスゴイ!!」
講 師 岡村道雄氏(元文化庁主任文化財調査官)

北の縄文パネル展

と き 平成26年10月1日(水)~4日(土) 10:00~21:00
ところ 函館ショッピングセンターポールスター(函館市港町1丁目2-1)

北の縄文セミナー
平成26年10月4日(土) 13:00~14:00

タブレットで遊ぶ!
北の縄文クイズコーナー



世界遺産登録推進フォーラム (道民カレッジ連携講座)

【とき】平成26年10月5日(日) 13:00~16:00 【ところ】ロワジールホテル函館(函館市若松町14-10)

基調講演

「津軽海峡圏の縄文はここがスゴイ!!」

縄文遺跡群世界遺産登録推進本部専門家委員会の委員でもある講師が、世界文化遺産を目指す北海道・北東北の縄文遺跡群の特徴と魅力、津軽海峡圏の縄文文化について講演します。

講師 岡村道雄氏(元文化庁主任文化財調査官)

講師略歴 1948年新潟県上越市生まれ。東北大学大学院文学研究科修士課程修了。東北大学文学部助手、東北歴史資料館、文化庁主任文化財調査官、奈良文化財研究所協力調整官を経て、現在は奈良文化財研究所名誉研究員、宮城県東松島市奥松島縄文村歴史資料館名誉館長。近著「縄文人からの伝言」(集英社新書2014年)。



事例発表

テーマ「津軽海峡をめぐる縄文時代の交流」

函館市、森町、青森県の教育委員会専門職員が、それぞれの遺跡からみた津軽海峡圏の縄文文化を語ります。

森町鷲ノ木遺跡からみた津軽海峡圏の環状列石について

高橋 毅氏(森町教育委員会社会教育課主任)

函館市内の遺跡からみた交流

阿部 千春氏(函館市縄文文化交流センター館長)

青森県三内丸山遺跡からみた交流

小笠原 雅行氏(青森県教育庁文化財保護課文化財保護主幹)

札幌からのバスツアーあります。詳細は
 (株)シービーツアーズ まで
 TEL:011-221-1122

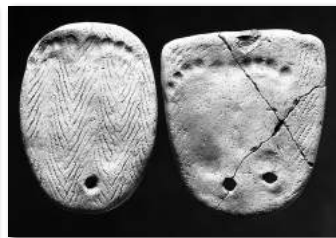
縄文遺跡群
ミニ博物館

開場
12:00~

会場内特設ブースで各市町の出土品の展示・解説を行います。



【銅形土製品】森町鷲ノ木遺跡



【足形付き土版】函館市垣ノ島遺跡



【石匙(赤井川村産黒曜石製)】青森県三内丸山遺跡

北の縄文パネル展

【とき】平成26年10月1日(水)~4日(土) 10:00~21:00

【ところ】函館ショッピングセンターポールスター(函館市港町1丁目2-1)

世界遺産登録を目指す「北海道・北東北の縄文遺跡群」や2013年度おしま&いぶり「北の縄文」魅力発信コンクール受賞作品についてパネル展示します。

北の縄文
セミナー

(道民カレッジ連携講座)

【とき】平成26年10月4日(土)

「函館市と道南の縄文遺跡」

13:00~14:00

福田 裕二氏(函館市教育委員会生涯学習部文化財課主査)

函館市と道南の縄文遺跡とその特徴について解説します。

タブレットで遊ぶ!
北の縄文
クイズコーナー



- 主催: 縄文遺跡群世界遺産登録推進本部
- 共催: 道南縄文文化推進協議会
- お問い合わせ: 北海道環境生活部くらし安全局 文化・スポーツ課 縄文世界遺産推進室
〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目
TEL:(011)204-5168 FAX:(011)232-8695
Eメール kansei.bunspo1@pref.hokkaido.lg.jp

